

歯の健康

新規・変更点・主要な点は下線で示す

健康目標	むし歯や歯周病を予防し、60歳で24本、80歳で20本の健康な自分の歯を保ちます
中間評価結果の概要	<p>「むし歯のない幼児（3才児）」の割合が74.6%と5.2Pt増加し、国と比べても良好な状況にある。また、12歳児の一人平均むし歯数（DMF数）も1.6本と1.0本減少し、かつ目標値も達成している。また、国と比べても良好な状況にある。</p> <p>しかし、<u>55歳～64歳で歯が24本ある成人の割合が減少していることや、定期的に歯科健診を受ける成人の割合が約2割にとどまる。また、歯周病（歯槽膿漏）と言われたが治療や取組をしていない成人の割合も、男性34.7%、女性16.1%となっている。</u></p> <p>歯の喪失原因となるむし歯や歯周病の発症には、生活習慣が大きく関係していることから、引き続き、<u>乳幼児期からのむし歯予防対策を強化するとともに、歯周病の早期発見・早期治療のために定期健診を受ける人を増やしていくことが重要</u>である。</p>
重点目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・ むし歯のない幼児（3歳児）の割合 74.6% 80.0%以上 ・ 12歳児の一人平均むし歯数（DMF数） 1.6本 1本以下 ・ 60歳以上（55～64歳）で24本以上自分の歯がある人の割合 50.2% 52.1%以上 ・ 80歳以上（75～84歳）で20本以上自分の歯がある人の割合 28.0% 28.0%以上 ・ 定期的に歯科健診を受ける成人の割合 19.6% 34.0%以上
今後の重点取組	・ ライフステージに応じた、むし歯・歯周病予防対策
推進テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの頃から正しい歯ブラシの習慣を身につけよう ・ 歯周病を予防するために定期健診を受けよう
実施主体別の取組	<p>【個人，家庭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児期から正しい歯みがきの習慣を身につけるとともに、保護者による仕上げみがきを徹底する ・ 幼児期から積極的にフッ化物（フッ化物塗布，フッ化物洗口，フッ化物配合歯磨き剤など）の利用に努める ・ 定期的に歯科健診や歯石除去，歯みがき指導を受ける。 ・ 自分の歯や歯ぐきのチェック，歯間部清掃用具の使用など，セルフケアを身につける <p>【医療機関，行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠中から歯や口の健康や，子どもの口腔衛生の重要性について普及啓発を行う ・ 6024，8020運動を普及する

<p>実施主体別の取組</p>	<p>【保育園、幼稚園、医療機関、行政】</p> <ul style="list-style-type: none">・ むし歯予防のため、フッ化物塗布等を推進する <p>【保育園、幼稚園、学校、医療機関、行政】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 歯科健診や健康教育等を通じて、むし歯や歯周病の予防など口腔の健康管理に取り組む・ <u>正しいブラッシング指導を行う</u> <p>【保育園、幼稚園、学校】</p> <ul style="list-style-type: none">・ <u>給食後の歯みがきを推進する</u> <p><u>【健康づくり推進員、食生活改善推進員】</u></p> <ul style="list-style-type: none">・ <u>まずは、自分自身の歯の状態を定期的に確認する習慣を身につける</u>・ <u>「歯の大切さ」について近所の人と話す機会を増やす</u>
-----------------	---